

## 愛や恋テーマ綾の短歌賞

# 歴代受賞作並ぶ

愛や恋をテーマにした綾町  
照葉短歌賞の受賞作を集めた  
作品展が、綾ふれあい館で開

かれている。写真。これまでに寄せられた計3900首のうち、小中学生、高校生、一般の3部門ごとに選んだ最優秀賞1点、優秀賞2点が並ぶ。29日まで。

2007年に同町がNPO法人地域活性化支援センターが認定する「恋人の聖地」に選ばれたことを機に、08年に始まった同短歌賞。今年で開催10年を迎えることから、初めて開き、過去9年間の受賞作計75点を展示している。

「くつばこの君との距離は20センチ教室の君は少し遠く

て」「打席立ち一点見つめる君の視線私を射ぬく打率10割」など、小中学生、高校生は淡い恋心の歌が多い。一般の部は「早春のミモザサラダを分け合ひて米寿の君と時を愛しむ」など、家族を慈しむものもある。

同館スタッフの富永純子さん(38)は「愛や恋の形は人の数だけあることを作品を通じて感じてもらえれば」と話している。開館は午前9時〜午後5時で入場無料。

(山下仁志)

